

政策体系	No.	110-180	事務事業名	海津市との姉妹都市交流事業	所 属 部	総務部
	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり		所 属 課	総務課
	施策名	0 2	地域間・都市間交流の推進		課 長 名	宗像成昭
	基本事業名	0 2	地域間・都市間交流活動の推進		所 属 G (係)	市民運動推進室
					電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
江戸時代に木曾川治水工事(宝暦治水)を行った薩摩義士への報恩感謝の気風を持つ岐阜県海津市と、姉妹都市交流事業を行っている。 春(4月25日前後)と秋(10月25日前後)の海津市への訪問研修(海津市民との交流、慰霊祭参列、薩摩義士の偉業史跡視察 薩摩関係史跡研修) 参加者から一部負担を徴収 青少年交流研修(海津市中高校生との交流、相互ホームステイ、生徒会交流、5月に海津市から受入れ、8月に海津市を訪問) 海津市からの受入れ事業(5月25日前後、海津市民との交流、平田公園慰霊祭参列)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 45 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 姉妹都市交流事業の開催回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民 中・高校生	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	薩摩義士の偉業を学びながら、海津市民との交流を行う。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	定期的・継続的な交流関係を築く。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ 中・高校生	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交流事業に参加した市民の数	人
		イ 薩摩義士の偉業を学んだ市民の数	人
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交流活動に参加している市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	4,217	3,890	4,381	5,178		
事業費計(A)	千円	4,217	3,890	4,381	5,178				
活動指標	ア	回	5	5	5	5			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ	人	6,800	6,800	6,800	6,800			
	ウ								
成果指標	ア	人	97	70	73	70			
	イ	人	97	167	240	310			
	ウ								
上位成果指標	ア	%	8.2	3.9	4.8	10.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和43年に旧国分市と海津町の交流がはじまり、昭和45年に姉妹都市盟約を結び、姉妹都市交流事業が開始された。新市となり、平成18年に新たに海津市と姉妹都市盟約を結び姉妹都市交流事業も継続することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併後、霧島市薩摩義士顕彰会が発足したり、市民が参加しやすいように一般公募方式を取り入れたりして、海津市との交流が充実してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
訪問研修の参加者人数の増加を図るよう議会や市民から意見が寄せられている。また、交流だけでなく、交流の基となった薩摩義士について、理解を深めるための勉強会や語り部の育成を図るよう議会や市民から意見が寄せられている。	

事務事業名	海津市との姉妹都市交流事業	所属部	総務部	所属課	総務課																										
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	薩摩義士の業績を学びながら、海津市民と交流を行うことは、定期的・継続的な交流関係を築くことに結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	姉妹都市盟約を結んだ都市との交流は、都市間交流を行う上で重要な位置付けがされるべきものである。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	姉妹都市交流の対象は市民であるため、対象は妥当である。定期的・継続的な交流関係を築くために、交流の基となった薩摩義士について学びながら、海津市との交流を行うこととしており、意図も妥当である。																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	訪問研修回数及び1回あたりの参加者数を増やすことで、薩摩義士の偉業について学ぶ機会も増えるため、成果を向上する余地がある。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	定期的・継続的な交流関係を築くことが途切れるとともに薩摩義士の偉業や報恩感謝の気風を知る機会が減少する。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	主な経費は、海津市への訪問研修に要する旅費であり、参加者から一部負担金を徴収している。負担額を上げると、参加者が減少すると予想されるため、削減余地はない。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	海津市役所の担当者、学校関係者及び旅行会社等との打ち合わせ・調整に多くの時間を要しているが、事業遂行に必要な時間であるため、削減余地はない。また、担当職員が一貫して業務に携わることで、事業がスムーズに行えるため、正職員以外の職員が従事することや部分的な委託も難しく削減余地はない。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	参加者は公募により決定しているため、受益機会は公平である。また、参加者からは参加費を徴収しており、費用負担も公平・公正である。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	より多くの市民が薩摩義士の偉業を学びながら、交流を行うために、訪問研修1回あたりの参加者を増やすことを検討する必要がある。																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 訪問研修に対する市民の関心を深め、参加意欲を高めるための広報を行う。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 訪問研修の参加者が増えれば事業効果は上がるが、事業コストも増加する。事業コストを維持するため、参加者の負担額を上げると、参加したいと思う市民が減少することが懸念される。																															

No.	210-230	事務事業名	CIR(国際交流員)招致事業				所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり				課長名	川村 直人
	施策名	0 2	地域間・都市間交流の推進				所属G(係)	国際交流グループ
	基本事業名	0 2	地域間・都市間交流活動の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 2	0 1	1 3	21050	国際交流員招致事業		
							特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
(財)自治体国際化協会へ国際交流員の募集・斡旋依頼をする。2次の選考を経て候補者を内定。自治体で採用者を決定。来日オリエンテーションを経て自治体で受入れる。外国語刊行物の翻訳や監修・国際交流事業の企画・立案及び実施。外国からの訪問客の接遇・イベント等の際の通訳などにあたる。 *現在の国際交流員は、姉妹都市のあるアメリカと中国の出身者で通訳や翻訳・国際交流事業の企画・立案及び実施にあっている		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	アメリカ・中国の国際交流員の招致	ア 招致CIR(国際交流員)数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	国際交流員 市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	国際化への対応として国際理解度を高める	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	定期的・継続的な交流関係を築く	名称	単位
		ア 国際交流員	人
		イ 市民	人口
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 国際交流員の行う事業数	回
		イ 国際交流員の活動を知っている市民の割合	%
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交流活動に参加している市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	508	497	504	504	
		一般財源	千円	9,515	9,508	8,847	9,765	
		事業費計(A)	千円	10,023	10,005	9,351	10,269	
		千円	10,023	10,005	9,351	10,269		
活動指標		ア 人	2	2	2	2		
対象指標		ア 人	2	2	2	2		
		イ 人口	127,259	127,941	127,450	128,383		
		ウ						
成果指標		ア 回	41	70	75	70		
		イ %	-	-	-	-		
		ウ						
上位成果指標		ア %	8.2	3.9	4.8	10.0		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 合併前の霧島町と牧園町で国際交流員招致事業を実施しておりそれを17年度から引き継いだ。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併により市の人口が増加し、国際交流員の存在自体を知らない市民が多い。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	CIR(国際交流員)招致事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 国際交流員招致により市民の国際理解度を高めることは地域間・都市間交流の施策に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 国際交流員の招致は、市民の国際理解度を高めるために不可欠で市による関与は妥当である。国際交流員を招致する自治体は(財)自治体国際化協会に加入して募集・斡旋事務を委託している。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 市民全体を対象にしているため対象は妥当である。同様に意図も妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 国際交流員の行う事業数を拡大することは可能である。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 海外都市との交流事務や通訳も担っており、連絡調整に支障をきたす。市民の国際理解度を高める事業がなくなり、効果があがらなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 外国青年招致事業として、外国語指導助手の招致がある。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 外国語指導助手の活動は、学校教育に限定されている。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は、国際交流員(2名分)の給与及び研修費用など招致関係のみである。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 国際交流員の給与であり、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 各種事業の案内を行っているが、市民全体への浸透度が問題である。多くの広報媒体を活用して、周知を図る必要がある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	幅広い年代の市民との交流が図れていない。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 契約期間が一年である。その契約期間中に年間スケジュールを作成し、スケジュールに沿った企画を立案し、活動させる。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 国際交流員の存在を市民や各種団体に周知させる。また、市民が利用できるようにすることが必要である。																	

No.	210-250	事務事業名	国際交流員による市民との交流事業				所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり				課長名	川村 直人
	施策名	0 2	地域間・都市間交流の推進				所属G(係)	国際交流グループ
	基本事業名	0 2	地域間・都市間交流活動の推進				電話番号	45 - 5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 2	0 1	1 3	21050	国際交流員招致事業	特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
国際交流員2名がアメリカと中国の国情や生活様式などをおして、市民に伝え国際理解や国際交流活動の促進を図る。料理教室は参加者を募集し、参加者を決定する。保険に加入料理材料をそろえ、当日の実習と交流を行う。アンケートで参加者の意向・要望等を調査する。 *現在の国際交流員は、姉妹都市のあるアメリカと中国の出身者で、通訳、翻訳及び国際交流事業の企画・立案及び実施にあっている。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	イ 国際交流員招致(料理教室)5回の企画開催	ア 実施した教室回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 実施した教室への参加者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	国際理解度を高める	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	定期的・継続的な交流関係を築く	名称	単位
		ア 市民	人口
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 実施事業に参加した人数	人
		イ アメリカや中国に対する理解が深まった参加者の割合	%
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交流活動に参加している市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	10	17	59	68		
		事業費計(A)	千円	10	17	59	68		
トータルコスト(A)+(B)		千円	10	17	59	68			
活動指標	ア	回	1	6	5	6			
	イ	人	29	106	88	115			
	ウ								
対象指標	ア	人口	127,259	127,941	127,450	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人	29	106	88	115			
	イ	%	-	-	-	-			
	ウ								
上位成果指標	ア	%	8.2	3.9	4.8	10.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
合併を契機に平成18年度から市民に広く国際交流員の存在を知らせ、国際理解を図るため、事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
教室参加者からのアンケート調査では、料理教室等親しみやすい国際理解イベントを企画して欲しいとの要望が多い。また、アメリカ、中国についての理解が深まったという声もあった。	

事務事業名	国際交流員による市民との交流事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 国際化推進のためには、身近な国際料理教室等の開催が有効であり、地域間・都市間交流推進の施策に結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市の国際化推進と市民の国際理解度を高めるための事業であり、公共性がある。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 市民全体を対象にしているため、妥当である。また、市民の国際理解度を高める事業であるため、意図も妥当である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 国際理解度を高める事業は、拡大の余地がある。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 身近な国際理解の事業が廃止されると市民の国際理解度を高められなくなり、事業に支障をきたす。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業はないが、市民が集まる他課の事業などと連携し、市民へ事業の浸透を図ることは可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 料理教室の材料代を完全に参加者負担することで、事業費を削減することができる。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 職員が国際交流員のサポートにあっている。この割合を減少させることで人件費の削減余地はある。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 市民全体へ広報誌で参加を呼びかけをしている。参加者へは経費負担をしてもらっている。参加者に材料代として、400円自己負担してもらっている。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	他部署との連携を深め、国際交流員の一層の活用が必要である。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 職員に国際交流員の積極的な活用を呼びかけている。料理教室については、自己負担ということを市民に理解させる(意識づける)必要がある。			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	210-270	事務事業名	姉妹都市・国際交流事業				所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり				課長名	川村 直人
	施策名	0 2	地域間・都市間交流の推進				所属G(係)	国際交流グループ
	基本事業名	0 2	地域間・都市間交流活動の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 特になし	
	一般	0 2	0 1	1 3	21010	国際交流費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
海外都市の訪問依頼を受けて、招へい状の発送を行い、交流内容を検討する。受入家庭が必要な場合は受入れ家庭を探し、決定する。霧島市滞在中は市内視察・交流などをサポートする。霧島市からの海外訪問は年次的に交流を決め、実施している。青少年海外派遣事業は霧島市国際交流協会へ補助金を交付して実施している。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 6 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
中国耀州区交流団受入れ(4月・8名)、アメリカ派遣(7月・14名)、マレーシア派遣(7月・11名)、ラオス派遣(7月・1名)、マレーシア交流団受入れ(10月・3名)、中国劉陽市交流団受入れ(10月・9名)、中国耀州区派遣(3月・4名)		ア 交流を行った地域・都市	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
アメリカ派遣(7月・12名)、マレーシア派遣(7月・12名)、ラオス派遣(7月・2名)、マレーシア交流団受入れ(10月)、耀州区派遣(3月・5名)		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
交流関係地域・都市		名称	
市民		単位	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ア 交流活動関係地域・都市	
継続的な交流を通じて、協力関係を築き、霧島市の発展を目指す市民の割合を増やす。		イ 市民	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		ウ	
定期的・継続的な交流関係を築く。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 相互協力関係を築いている地域・都市数	
		イ 交流活動に参加している市民の割合	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 継続的な交流関係を築いている地域・都市	
		イ 交流活動に参加している市民の割合	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	6,343	6,922	1,395	2,179		
		事業費計(A)	千円	6,343	6,922	1,395	2,179		
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,343	6,922	1,395	2,179			
活動指標	ア	地域・都市数	2	8	13	5			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	地域・都市数	15	15	15	15			
	イ	人口	127,259	127,941	127,450	128,383			
	ウ								
成果指標	ア	地域・都市数	2	8	13	15			
	イ	%	8.2	3.9	4.8	10.0			
	ウ								
上位成果指標	ア	地域・都市数	15.0	15.0	15.0	15.0			
	イ	%	8.2	3.9	4.8	10.0			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
合併以前から各市町が行っていた姉妹都市交流を新市発足により平成17年11月から引き継いだ。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
旧市町が行っていた海外の姉妹都市との交流関係を確認し、霧島市として姉妹都市盟約や友好交流協議書を再締結した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	姉妹都市・国際交流事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷		
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	相互交流を続けることで地域間・都市間交流の促進が図られ、政策・施策の目的に結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷		
なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	姉妹都市交流の主体は市及び市民であり、公共性がある。				
対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷			
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	海外からの希望もあり、姉妹都市・友好都市の交流先は検討の余地がある。交流申し入れに対して、辞退を申し入れた				
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷		
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	姉妹都市・友好都市については、海外からの申し出もあり、拡大は可能である。交流申し入れに対して、辞退を申し入れた			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷		
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	今まで築いてきた友好交流関係が崩れ、青少年海外派遣事業などが実施できなくなる可能性が高い。				
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷			
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	青少年海外派遣事業は国際交流協会に補助金を交付して実施するようにした。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷				
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	1回あたりの派遣人員や受入れ人員を検討し、効率的な事業運営ができれば経費を削減することができる。			
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷			
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	国際交流協会に派遣事業を委託することで、人件費の削減は可能となった。				
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷		
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	派遣事業は広く市民に公募している。ただし、派遣事業、受入れ事業ともに応募が少ない事業であり交流対象者を増やすことはできる。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	派遣事業、受入れ事業について、市民の参加が少ない。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 国際交流事業が主であるが、自己負担の問題等により事業への参加が少ないので、参加した人の事例などの広報活動により市民への国際交流への理解を高める。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																	
国際交流事業を推進するためには、国際交流協会の存在が大きいため、連携を深める必要がある。																	

No.	210-280	事務事業名	市国際交流協会運営支援事業				所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり				課長名	川村 直人
	施策名	0 2	地域間・都市間交流の推進				所属G(係)	国際交流グループ
	基本事業名	0 3	交流のための民間組織・人材の育成、充実				電話番号	45 - 5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 特になし	
	一般	0 2	0 1	1 3	21010	国際交流費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市国際交流協会の運営補助として補助金を交付している。 (市の活動)霧島市国際交流協会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 *霧島市国際交流協会は、市民レベルの国際交流活動を推進することを目的に設立された団体。市民及び市内事業者を会員として運営されている団体である。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 1 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 補助金の交付(マレーシア派遣・中国耀州区派遣事業の実施)		ア	実施した事業回数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 補助金の交付(マレーシア派遣、中国耀州区・アメリカ派遣・ラオス派遣)		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 補助金の交付(マレーシア派遣、中国耀州区・アメリカ派遣・ラオス派遣)		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
国際交流協会会員 <対象団体>霧島市国際交流協会 <対象活動>国際交流協会の運営		ア	国際交流協会会員数
		イ	国際交流協会の運営に関する経費
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
国際理解度を高める		ア	新たに加入した会員数
		イ	国際交流協会事業への参加者数
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
団体の組織、活動が盛んになる。 人材が育つ		ア	団体数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	3,526	3,526	3,350	3,000	
	事業費計(A)	千円	3,526	3,526	3,350	3,000		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,526	3,526	3,350	3,000		
活動指標	ア	回	20	22	19	18		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	136	134	150	156		
	イ	千円	6,875	9,093	15,824	17,427		
	ウ							
成果指標	ア	人	0	-2	19	18		
	イ	人	489	596	643	500		
	ウ							
上位成果指標	ア	団	9.0	9.0	8.0	9.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 合併前の国分市(平成元年)・隼人町(平成6年)時代から国際化への対応のため協会へ補助を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市町村合併により統一した国際交流協会設立が必要になり、平成20年4月に統一した協会が設立した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 国際交流協会員から霧島市で一本化した国際交流協会設立が必要との声があり、平成20年4月に統一した協会が設立された。	

事務事業名	市国際交流協会運営支援事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 国際交流協会の円滑な運営を手助けすることは、市の国際化推進・市民の国際理解度を高めることにつながり、共生・協働のまちづくり政策に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 民間レベルでの国際交流活動を支援することは、市の国際化推進・国際理解度を高めることにおいても有効である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 協会員全体を対象としているので、対象は妥当である。同様に意図も妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 国際交流協会の統合により、活動の裾野が広がり、市内全域から会員を募り、自主財源を増やすことが可能となった。 従来、協会組織があったのは、国分・隼人地区のみであった。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 青少年の海外派遣や受入れ事業を一手に行っており、事業廃止によりこれらができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 従来、市が実施していた派遣事業を協会がまとめて実施することにより募集事務・事前・事後研修など一体的に実施できるようになった。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 二つの協会が統合して新協会が設立されたので、事務経費の見直しが図られる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金の交付事務のみであり、削減余地は少ない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 青少年の海外派遣事業は会員のみではなく、広く公募している。参加人数に制限があるが、派遣経費の半額は自己負担である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市の海外派遣事業を協会で実施することにより、効果的な運営が見込まれる。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 霧島市国際交流協会派遣事業・受入れ事業を総合的に行う。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 国際交流協会の組織確立が必要である。																							

No.	210-290	事務事業名	青年海外協力隊を支援する会参画事業				所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり				課長名	川村 直人
	施策名	0 2	地域間・都市間交流の推進				所属G(係)	国際交流グループ
	基本事業名	0 3	交流のための民間組織・人材の育成、充実				電話番号	45 - 5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	0 2	0 1	1 3	21010	国際交流費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
国際協力機構が実施する青年海外協力隊員の派遣事業を後方で支援し、できるだけ優れた人材を発掘し発展途上国に送り、派遣国で最大の貢献ができるように配慮し、国際性豊かな青少年の育成を行うとともに、草の根の国際交流を推進する鹿児島県青少年海外協力隊を支援する会に対して、負担金を支出している。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	青年海外協力隊派遣支援(派遣市長表敬訪問)	ア 派遣者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	国際理解を高める	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	団体の組織、活動が盛んになる。 人材が育つ。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交流活動に参加している市民の割合	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 団体数	団体
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	30	30	30	30		
		事業費計(A)	千円	30	30	30	30		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	30	30	30	30		
活動指標	ア	人	1	2	2	2			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	127,259	127,941	127,450	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	8.2	3.9	4.8	10.0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	団体	9	9	8	9			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国際性豊かな青少年育成を推進するために、平成18年度に負担金の支出を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	青年海外協力隊を支援する会参画事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	市が負担金を支出し、後方支援することは人材育成につながる。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	市民の人材育成は、市が行わなければならない。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	市民を対象にしているので、妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	負担金として支援しているので、向上の余地がない。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	国際性豊かな人材育成する機会が少なくなる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	後方支援はこの方法以外にない。市において、この事業を実施することはできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	少ない金額を負担金として、支出しているので、これ以上削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	負担金として、支出しているので、削減の余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	負担金以外に支出していないので、適正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	引続き、後方支援する。																						
有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下	/		
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			/																				
	低下	/																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								